

自動車整備作業中の事故防止について

厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」に、全産業で発生した労働災害について労働災害統計・災害事例が掲載されており、日整連では、自動車整備業における最近 10 年間の統計を抽出し、まとめましたので、整備作業における事故防止対策の参考資料としてご活用ください。

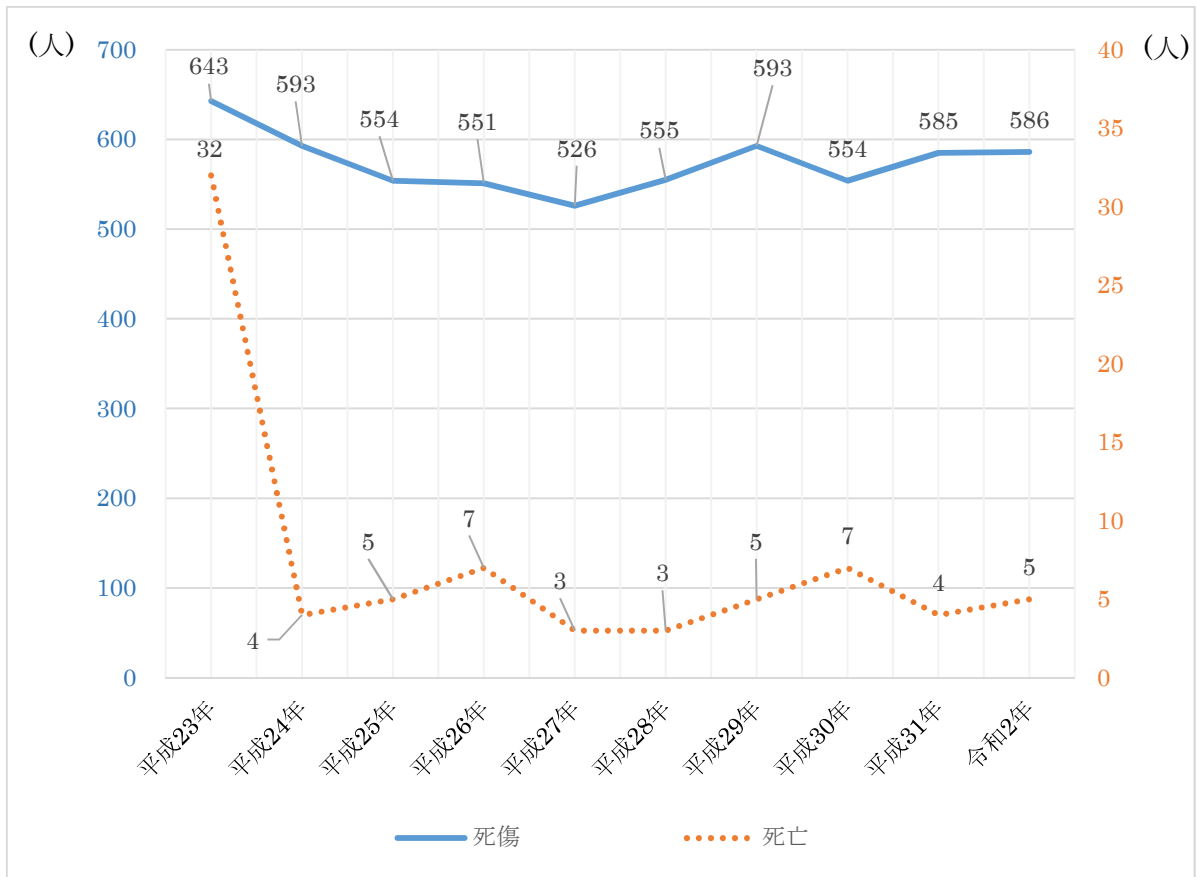
1. 自動車整備業の労働災害の状況

自動車整備業における最近 10 年間の労働災害事故の状況はグラフ 1 のとおりで、死傷者数の推移については、平成 31 年は前年と比較し増加傾向となっておりますが、令和 2 年はほぼ横ばいの 586 人の死傷者が発生しました。

それに対し、死亡者数の推移については、平成 31 年の死亡者数は 4 人となっておりますが、令和 2 年の死亡者数は 5 人と、前年より 1 人増加しております。

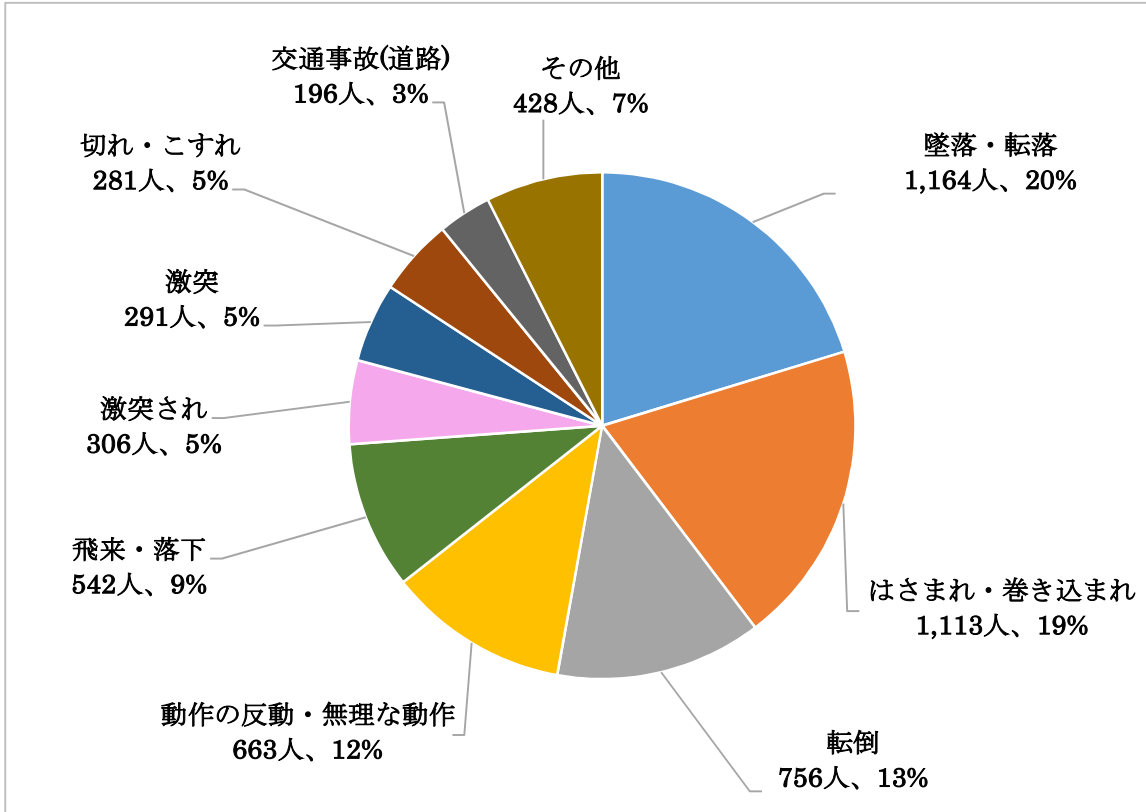
なお、平成 23 年の死傷者数及び死亡者数が多くなっていますが、これは平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により多数の死傷者が発生したためで、推移の傾向分析（グラフ 4、5）からは除外しています。

グラフ 1：自動車整備業の労働災害事故による死傷者数及び死亡者数の推移



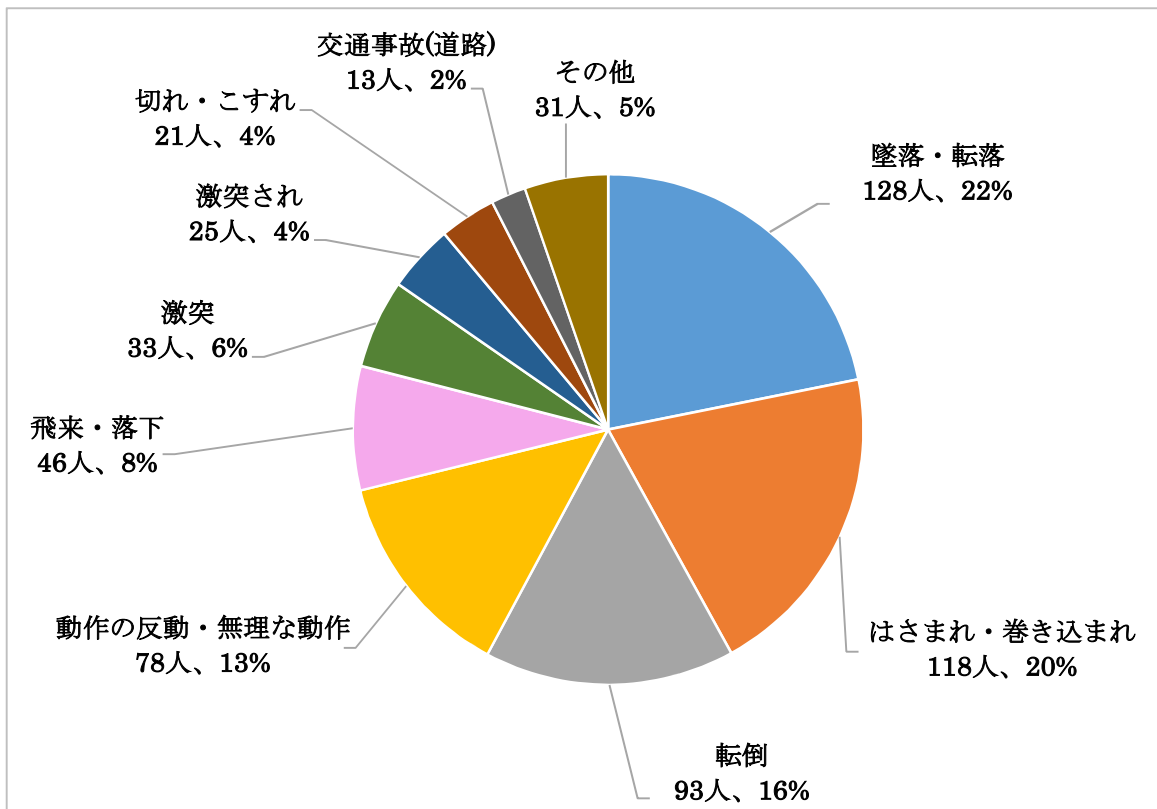
グラフ 2は、平成 23 年から令和 2 年における労働災害死傷事故を事故型別の割合で表したものです。

グラフ 2：事故型別 死傷事故発生割合（平成 23 年～令和 2 年）



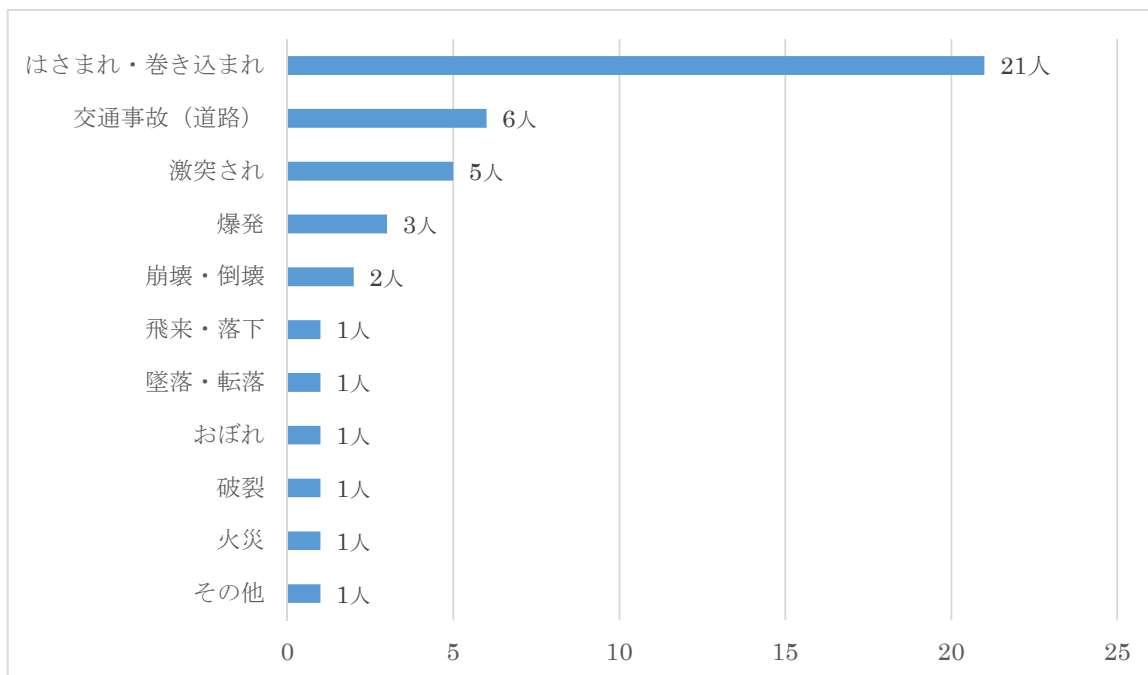
グラフ 3は令和 2 年の労働災害死傷事故をグラフ 2と同様に事故型別の割合で示したものです。これらから、両グラフとも事故型別の割合はほぼ同じような状況であることから、毎年、類似した状況において労働災害死傷事故が発生していると推測されます。

グラフ 3：事故型別 死傷事故発生割合（令和 2 年）



グラフ 4 は、平成 23 年～令和 2 年の死亡者数を事故型別に発生割合の多い物の順に棒グラフにしたもので、「はさまれ、巻き込まれ」の割合が一番多く、毎年複数の方が亡くなられています。

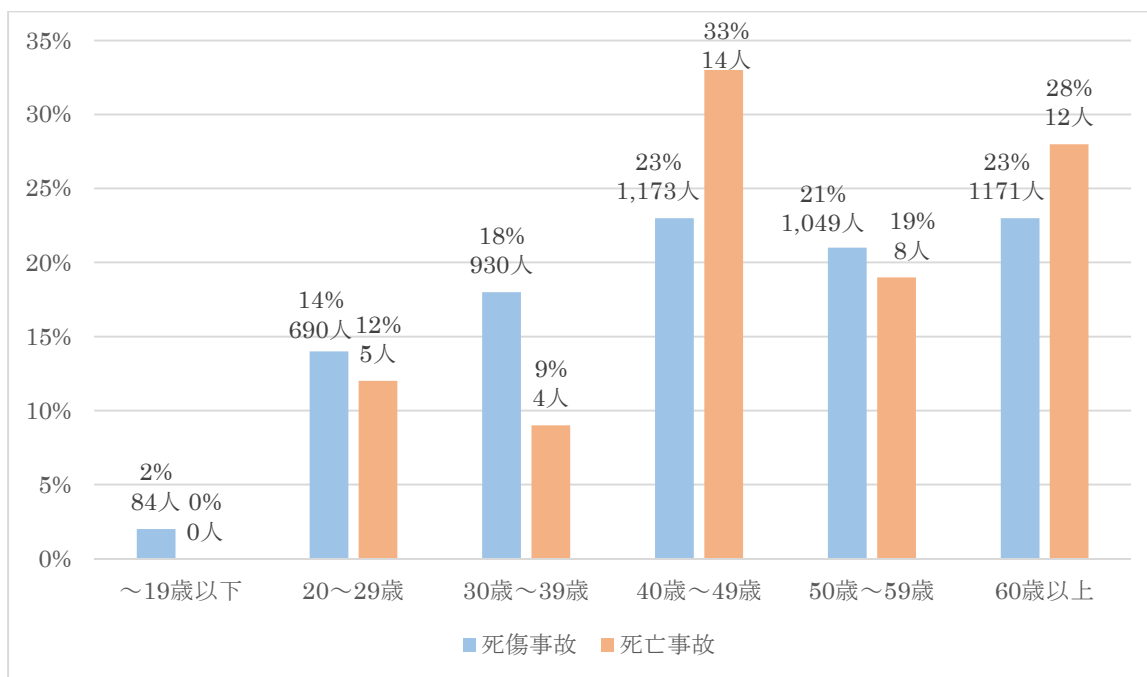
グラフ 4：事故型別 死亡者数（平成 23 年～令和 2 年）※23 年分は除く



グラフ 5 は、死傷者数及び死亡者数を年齢別に表したものです。

以前までは、60 歳以上の年代の死亡者数割合が大きくなっておりましたが、令和 2 年までの累計で 40 歳～49 歳の死亡者数割合が高くなっていることが、このグラフから分かります。


グラフ 5：年代別 死傷者・死亡者数割合（平成 23 年～令和 2 年）※23 年分は除く




2. 整備作業中における事故発生事例とその対策

日整連に報告のあった令和2年度中の事故事例について、対応策等をまとめましたので、ご参考ください。

【事例①】 ファンベルトに巻き込まれ左手を重傷

	【被害状況】 重傷者1名
	【事故状況】 クランクプーリーのベルト溝の錆を取るためエンジン始動状態で、サンドペーパーにて錆取りをしていたところ、薄手の作業手袋がファンベルトに巻き込まれ左手薬指の第一関節から先を切断及び左手中指を指先腹側裂傷した。
	【防止対策】 <ul style="list-style-type: none">・機械を動かさなくとも作業できる場合は、停止状態で行う。・安全作業の徹底及び安全教育の再徹底。

【事例②】 2柱リフトのアームと床に頭を挟まれ重傷


	【被害状況】 重傷者1名
	【事故状況】 2人の整備士で2柱リフト（埋め込み型）を使い、エンジンを取り外す作業をしていたところ、この内の1人の整備士がリフトを下げたため、下側で作業していた整備士が2柱リフトのアームと床に挟まれ、頭の骨を折る重傷を負った。
	【防止対策】 <ul style="list-style-type: none">・リフトを操作する際は周囲に声掛けし、相互確認をしてから操作等を行う。

【事例③】 凍結防止剤散布車の攪拌機に巻き込まれて死亡

	【被害状況】 死亡者1名
	【事故状況】 凍結防止剤散布車（5トントラックベース）の散布装置部分の油漏れを整備中、装置内部の攪拌機に衣服を巻き込まれ窒息死した。（目撃者がいないため事故状況は推測。）
	【防止対策】 <ul style="list-style-type: none">・安全作業の徹底及び安全教育の再徹底。・作業時の周囲への声掛けや警笛を鳴らすなどの相互確認作業の再徹底。・作業中である旨の看板類を作成するなど目で見える安全対策と意識の向上対策の再徹底。

整備作業中のちょっとした油断、不注意、判断ミス等が災害事故を起こす要因となりますので、災害防止のための基本対策等につきましては、「安全整備作業の手びき」をご活用し、職場の安全確保を図るようお願い致します。

「改訂版 安全整備作業の手びき」
(一社) 日本自動車整備振興会連合会・日本自動車整備商工組合連合会



- I 自動車整備業の労働災害の現況
- II 整備作業中における重大事故発生事例
- III 自動車検査場での事故発生事例
- IV 災害防止のための基本対策
- V 安全な整備作業のための留意点
- VI 主な機器の適切な取扱い
- VII 事故防止のための取組み事例
- VIII 不慮の災害に備えた保障制度